

2006 年度 小委員会活動成果報告

(20 年 月 日作成)

小委員会名	環境配慮型鉄筋コンクリート工事ガイドライン 作成小委員会 1	主 査 名：野口貴文 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：田中享二 主 査 名：榎田佳寛
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p><u>設置目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会標準仕様書・鉄筋コンクリート工事 (JASS 5) の環境配慮版である「環境配慮型鉄筋コンクリート工事ガイドライン」を作成する。 <p><u>各年度活動計画</u></p> <p>2006 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会大会の研究協議会における「環境配慮型鉄筋コンクリート工事ガイドライン」の原案を紹介 ・「環境配慮型鉄筋コンクリート工事ガイドライン」の作成 	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>野口貴文 (東京大学) 小山明男 (明治大学) 田村雅紀 (東京都立大学) 石川嘉崇 (電源開発) 依田和久 (鹿島建設) 橋田 浩 (清水建設) 並木 哲 (大成建設) 一瀬賢一 (大林組) 柳橋邦生 (竹中工務店) 齋藤 博 (東鉄工業) 原田修輔 (住友大阪セメント) 大川 裕 (エヌエムビー) 澤田英二 (全国生コンクリート工業組合連合会) 金 貞美 (東京大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2005 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし

大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 日本建築学会大会の研究協議会における「環境配慮型鉄筋コンクリート工事ガイドライン」の原案の紹介 鉄筋コンクリート工事の各段階において、環境負荷低減のために考慮すべき事項とそれへの対処技術について2年間半かけて検討してきた内容を、JASS5の大改定版にどのように盛り込むべきかについて提案を行い、それを研究協議会において紹介し会員の理解を得た。</p> <p>2. 「環境配慮型鉄筋コンクリート工事ガイドライン」の作成 上記提案に基づき、委員会活動の後半においては、鉄筋コンクリート工事の各段階において環境負荷を最小化するための対処技術を具体的に工事仕様書という形で示す試みを行ったが、環境に配慮した工事仕様書そのものを作成するのではなく、環境に配慮した工事仕様書を作成するための方策を示したガイドラインを作成する必要があるという結論に至り、若干の軌道修正を行って出版物として仕上げるため、あと1年間の活動継続が必要となった。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 予算が少ないため、遠距離の委員を選出することができない。</p> <p>2. 学会の予算システムが、成果物に伴う収益があまり還元されないものであるため、成果物を作成するためのインセンティブが働きにくい。</p>